サプライチェーンマネジメント

仕入先様とのパートナーシップとサプライチェーン全体の最適化を重視したCSR調達の推進

ムラタは「公平」「公正」「誠実」を基本とする調達方針に基づき、仕入先様との共存共栄を目的としたパートナーシップの構築を進めています。特に品質面では、仕入先様とともに固有技術や管理技術の改善に取り組み、技術レベルの向上や不良率・歩留まりの低減などを図ってきました。

一方、人権や児童労働、強制労働、性別・宗教による差別の禁止、責任ある鉱物調達など、調達におけるCSR活動の対象範囲をサプライチェーン全体に拡大することが求められてきています。ムラタでは、これらCSR調達を課題のひとつとして認識し、日々リスクの低減に向けた活動を行っています。

「調達方針」と「仕入先様に求める姿勢・行動」

2021年度にムラタグループの「調達方針」と「仕入先様に求める姿勢・行動」を見直すとともに、新たに取引を開始する仕入先様や、既存仕入先様へのリスク評価の方法も見直しました。

調達方針	「調達基本方針」 「調達行動指針」
仕入先様に求める姿勢・行動	「仕入先様に求める姿勢」 「サプライヤー行動規範」※

※「サプライヤー行動規範」は、「ムラタグループサプライチェーンCSR調達ガイドライン」内に記載。

「調達基本方針」

ムラタは、下記基本方針にもとづき調達活動を行います。

1.遵法
法令・規則、社内規定を遵守し、社会倫理に従って業務を遂行いたします。

2.公正
グローバルに広く門戸を開放し、取引機会の均等を図ります。

3.公平・誠実
仕入先様と信頼関係・協力関係を築き、仕入先様とのパートナーシップを強固なものとすることを目指します。

4.社会的責任
調達活動を通じて、人権、環境などの社会的責任を果たしていきます。

仕入先様への責任と行動（CSR調達の取り組み）の詳細はこちらをご覧ください。
https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/suppliers

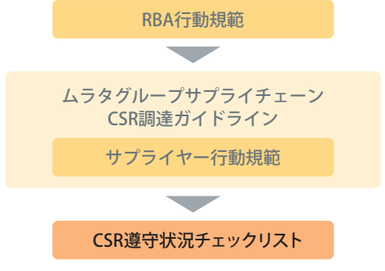
• 社会的責任を推進する企業同盟「RBA」に加盟

ムラタではCSR調達の取り組みを推進していくため、2022年度にグローバルサプライチェーンにおけるCSRを推進する企業同盟である「RBA (Responsible Business Alliance)」に加盟しました。

RBAは世界の電子機器メーカーやサプライヤーなどで構成されており、グローバルなサプライチェーンを通じて労働・安全衛生・環境・倫理・管理システムの領域でCSRの向上を目指しています。当社はRBA加盟企業として、RBAのビジョンとミッションを全面的に支持し、ステークホルダーの皆様との共栄を図るとともにその内容を深化させ、サプライチェーン全体で持続可能な社会の実現を目指していきます。

• サプライチェーンCSR調達ガイドライン

「RBA行動規範」をもとに、情報セキュリティや事業継続計画（BCP）、輸出入管理などを加えた考え方を「ムラタグループサプライチェーンCSR調達ガイドライン」（以下、ガイドライン）として定めています。この中で、仕入先様に遵守・実践いただきたい内容を「サプライヤー行動規範」として明示しています。ガイドラインは日本語・英語・中国語でウェブサイトに公開するとともに、既存の仕入先様へ配付し、新規に取引を開始する仕入先様にへは取引前に配付しています。



活動推進のための取り組み目標

ムラタでは、CSR調達を推進するためにKPI（目標値）を設定し、調達方針に沿ったCSR評価の取り組みを行っています。

2021年度に設定したKPIはいずれも概ね達成することができました。今後は新たに設定した2024年度のKPIを達成できるように、引き続きCSR調達課題に対するリスクの低減を図っていきます。

• 2021年度KPI（目標値）および実績

2021年度KPI	目標値	実績
ムラタグループサプライチェーン CSR調達ガイドライン条項遵守契約率	95%	94%
CSR評価適合仕入先様の比率	95%	96%
CSR監査（新規仕入先様）の実施率	100%	100%

• 2024年度KPI（目標値）

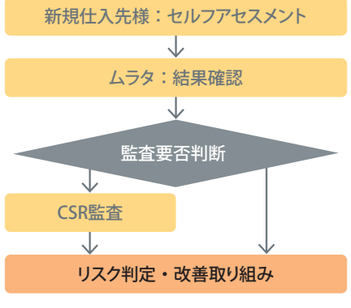
2024年度KPI	目標値
ムラタグループサプライチェーン CSR調達ガイドライン 条項遵守契約率	95%
CSR評価の改善率	是正対象となった仕入先様の改善率100%
CSR監査の実施率	重要仕入先様※へのCSR監査実施率95%

※重要仕入先様の特定についてはこちらをご覧ください。
https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/suppliers#id5

仕入先様のリスク評価（監査）

• 新たに取引を開始する仕入先様

取引開始時に「CSR同意書」を締結し、ガイドラインに同意いただくとともに、ガイドラインに基づく「CSR遵守状況チェックリスト」（以下、チェックリスト）によるセルフアセスメントを実施いただいています。2021年度にセルフアセスメントを実施いただいた仕入先様は36社でしたが、改善が必要な仕入先様はありませんでした。さらに品質管理体制・化学物質管理体制とともにCSR面のリスク評価と改善のためにCSR監査も実施しています。2021年度に監査を実施した仕入先様は22社でした。このうち「倫理」に関する項目で軽微なリスクが確認された5社に対し、フォローアップシートの提出を要請し、改善活動を実施いただきました。現時点ですべての是正が完了しています。「環境」面では、ムラタのGHG排出量のうち約75%をScope3が占めています。さらにScope3のうち約60%をカテゴリ1（購入した物品・サービス）が占めています。そのため仕入先様から購入する資材からのGHG削減も不可欠であり、仕入先様とともにGHG削減に向けた取り組みを行っていきます。



• 既存仕入先様

ムラタの調達方針やガイドラインのご理解と浸透を図るとともに、仕入先様ご自身でCSR上のリスクを認識して改善いただくことを目的に、チェックリストを用いたセルフアセスメントを毎年実施いただいています。2021年度は重要仕入先様133社を対象に調査を実施しました。その結果、仕入先様からの回答回収率は100%を達成し、いずれの仕入先様からも致命的なリスクは確認されませんでした。

	対象	実施社数	是正対象件数	ローリスク仕入先様比率
2019年度	重要仕入先様	110	0	100%
2020年度	重要仕入先様	154	2	99%
2021年度	重要仕入先様	133	5	96%

2022年3月からは、取引金額や商品機能における重要性など、RBAの基準に基づいて選定した重要仕入先様に対し、セルフアセスメントに加えてCSR監査も開始しました。将来的にはすべての重要仕入先様へのCSR監査を行う予定です。

CSR監査では、ガイドラインに基づいて遵守状況を確認します。机上での確認に加えて現場の確認や従業員へのインタビューも行うことで実態をより正しく把握することに努めています。さらにCSR監査実施前には、仕入先様に対しガイドラインやCSR監査に関する説明会を行い、監査前後でのQ&Aや改善取り組みの支援を行うことで、理解を深めていただいています。

このように、新規仕入先様や既存仕入先様へのCSR監査の機会などを利用し、仕入先様とともに人権・安全衛生・環境・倫理・管理体制の各CSR遵守の取り組み強化に努めています。より一層拡大・高度化していくCSR調達について、ステークホルダーの皆様が安心できるサプライチェーンの確保を推進していきます。

責任ある鉱物調達の推進

• 背景と目指す姿

コンゴ民主共和国（DRC）やその隣接国などの紛争地域および高リスク地域（CAHRAs）[※1]で採掘される3TG[※2]ならびにコバルト、マイカが、武装勢力への資金供与、強制労働や児童労働を含む人権侵害、環境破壊、資金洗浄などの不正行為につながることが懸念されています。

ムラタは、このような不正行為につながる可能性のある鉱物を当社製品に使用しないために、OECDデュー・ディリジェンスガイダンスに基づいた適切な評価（デュー・ディリジェンス）を継続するとともに、Annex IIリスク[※3]に関与しないことを目指します。

• 取り組み内容

責任ある鉱物調達を推進するための対応方針を定め、自社製品に含有する対象鉱物のCAHRAsにおけるAnnex IIリスクの有無について管理しています。サプライチェーン上の製錬・精製業者を特定するために業界標準であるRMAP[※4]に準拠した調査を行い、社内基準に沿って評価し、リスクの高い製錬・精製所を使用している場合は、そのリスク内容を伝達し、改善に向けた適切な取り組みを進めています。お客様からのサプライチェーン情報提供のご要望に対しては、調査した結果をもとにRMI（Responsible Minerals Initiative）[※5]が発行するCMRT（Conflict Minerals Reporting Template）に加え、EMRT（Extended Minerals Reporting Template）にもとづくコバルト、マイカの情報提供も行っています。

責任ある鉱物調達方針、OECD Due Diligence Guidance 5ステップに準じた取り組みの詳細はこちらをご覧ください。
https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/suppliers#id14

• 調査結果および今後の課題と取り組み

ムラタでは、最新のサプライチェーン情報を把握しておくため、仕入先様に対して定期的な調査を継続しています。これまでの紛争鉱物調査から、当社主力製品である積層セラミックコンデンサをはじめ、インダクタ、サーミスタ、セラミック発振子などは、既にコンフリクトフリーであることを確認しています。

2021年度の紛争鉱物調査では、3TGを取り扱う主要仕入先様154社を対象として調査を実施し、100%の回答を得ました。また、コバルト調査では91社に対し調査を実施し、86%の回答を得ました。

以上の調査から、420社の製錬所を特定し、そのうち327社がRMAP適合製錬所であることを確認しました。

2021年度 責任ある鉱物調達 調査結果

	金	スズ	タンタル	タングステン	コバルト	合計
製錬所および精製所総数	177	84	41	57	61	420
コンフォーマント認証を受けた製錬所および精製所総数	121	80	37	50	39	327

今回の調査を通じてムラタでは、大きく分けて3つの課題を認識し、取り組みを進めていくことが重要であると考えています。

課題①RMAP適合製錬・精製所からの調達率改善について

仕入先様に対してRMAPに適合している製錬・精製所を使用するよう、管理体制の構築、リスク評価の実践をお願いしています。しかし現時点においてRMAP適合率は100%に達しておらず、当社のすべての製品においてAnnex IIリスクに関与していないことを保証することが難しい状態です。

取り組み

RMAP適合製錬・精製所以外の使用を報告された仕入先様に対し、ムラタから一方的にサプライチェーンからの排除を要求していくのではなく、現状の課題を共有し、今後も課題解決に向けて協議しながら改善活動を進めていきます。

課題②コバルト調査回答率100%に向けた取り組みについて

コバルト調査は法令対応ではないことから仕入先様の取り組むべき優先課題になりづらく、調査への協力が得られないケースがあります。

取り組み

個社での解決が難しい問題に関しては、業界団体へ課題の提言をするとともに、引き続き仕入先様へ調査へのご理解・ご協力を求めていきます。

課題③3TG、コバルト以外のリスクが懸念される新たな鉱物への対応について

近年3TG、コバルト以外の鉱物も、CSR上のリスクはないか、お客様からのお問い合わせが増加しています。ムラタがリスク評価基準としているRMAPがサポートしていない新たな鉱物については、リスク査定を行う方法が無く安全性を担保するのが困難です。

取り組み

2020年度に、RMIが実施するRMAPの管理対象鉱物にマイカが追加されたため、ムラタにおいても製錬所調査を開始しました。また、リチウム、銅、ニッケル、アルミニウムなど対象鉱物の拡大に対しては、製品への使用状況およびサプライチェーンの確認を行っていきます。今後もお客様、仕入先様、関連団体などと密接に連携することで、人権問題等などのリスクをも考慮した鉱物調達に取り組んでいきます。

• 業界活動を通じた課題への取り組み

ムラタはJEITA「責任ある鉱物調達検討会」[※6]、RMIなどの業界のイニシアティブである団体に属し、業界全体の仕組みづくりなど個社では限界のある課題に対しても積極的に取り組んでいます。

取り組み①

コバルトにおいては現在もRMAPに参画していない精製所が多く存在しますので、JEITA「製錬所支援チーム」[※7]の一員としてRMAP未参加の製錬・精製所に対して受審を促す活動を行っています。

取り組み②

JEITA主催の「責任ある鉱物調達説明会」の運営に参加し、説明会を通じて仕入先様を含む多くの企業様と最新情報を共有し、取り組みの重要性について理解を深めていただくよう、教育・啓発を行っています。

取り組み③

リスクが懸念される新たな鉱物について、RMAPのサポートが効率的に進むよう、問題点の整理や仕組みの提案などをJEITA検討会で積極的に議論し、RMIへ提言しています。

※1 Conflict Affected and High Risk Areas（紛争地域および高リスク地域）
※2 スズ・タンタル・タングステン・金
※3 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の採掘、取引、取り扱い、および輸出に関連して発生する可能性がある重大な悪影響のリスク
※4 RMIが推進する精錬所監査プログラム
※5 詳細はこちらをご覧ください。
https://www.responsiblemineralsinitiative.org/
※6 詳細はこちらをご覧ください。
https://home.jeita.or.jp/mineral/index.html
※7 詳細はこちらをご覧ください。
https://home.jeita.or.jp/mineral/about/support.html

仕入先様への表彰制度

ムラタでは、品質の向上・納期の改善・原価低減活動・技術革新への貢献のほかに、CSR調達実現に多大なるご協力をいただいた仕入先様に感謝状を贈呈しています。選考においては、各評価項目にムラタ独自の基準を設定し、1年間の実績に基づき対象となる仕入先様を決定します。これらの表彰を通じて仕入先様に感謝の意をあらためてお伝えし、共存共栄を図るべく信頼関係を構築しています。

仕入先様へのCSR調達活動展開

調達方針にもとづき、2009年から管理体制の構築やリスクの低減を図るなど、サプライチェーンの透明性確保に向け取り組みを行っています。今後も仕入先様と協働し、公正な事業活動に取り組んでいきます。

		2009年	2013年	2016年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 ・・・
CSR調達方針の展開		RBA（旧EICC）行動規範の展開				CSR調達ガイドラインの制定・配付			
リスク評価	既存の仕入先様			セルフアセスメント実施				定期監査実施	
	新規に取引開始する仕入先様							セルフアセスメント実施	新規採用監査実施
紛争鉱物への対応			CMRTによる回答開始（3TG：タンタル、スズ、タングステン、金）			CRTによる回答開始（コバルト）			マイカなど新たな鉱物への対応